

## 船舶事故調査報告書

平成26年3月20日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 庄 司 邦 昭  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成25年6月16日（日） 14時30分ごろ
発生場所	鹿児島県鹿児島市桜島西岸沖 鹿児島市所在の神瀬 <sup>かんせ</sup> 灯台から真方位001° 2,350m付近 （概位 北緯31° 35.3′ 東経130° 35.4′）
事故調査の経過	平成25年10月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	旅客船 ゆーみんレインボー、9.7トン 252-16070鹿児島、個人所有 10.67m (Lr) × 3.50m × 1.25m、FRP ディーゼル機関、95.60kW、不詳
乗組員等に関する情報	船長兼運航管理者 男性 66歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和52年12月9日 免許証交付日 平成22年12月8日 （平成27年12月7日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	船底サイトグラス2枚を破損
事故の経過	<p>本船は、船長及び甲板員が乗り組み、旅客12人を乗せ、約60分の桜島西岸における船底サイトグラスによる海底溶岩流観賞コースの周遊を行うため、船体中央部付近が約1.2mの喫水により、平成25年6月16日14時00分ごろ鹿児島市赤生原<sup>あこうばる</sup>港を出港した。</p> <p>本船は、船長が操船に当たり、船首に甲板員を見張りとして配置し、ほぼ基準経路に沿って航行を行い、船長及び甲板員による陸岸との距離の目測により、桜島北<sup>きた</sup>寅<sup>とら</sup>崎南方の沿岸付近の観賞海域に接近した。</p> <p>船長は、陸岸との距離を目測しながら、旅客に迫力ある水中景色を見せようとし、本船を沿岸地形に沿って蛇行させながら、ふだんよりも僅かに沿岸寄りに微速で航行中、甲板員から沖へ船を向けるよう、合図を受けた直後、14時30分ごろ本船の船底サイトグラスが突出した海図に記載されていない暗岩に乗り揚げた。</p> <p>船長は、旅客の安全を確認し、旅客全員に救命胴衣を着用させた</p>

	<p>上、知人の遊漁船を手配して旅客全員を同遊漁船に移乗させ、鹿児島市桜島港に下船させた。</p> <p>本船は、船底サイトグラスの破損を除き、船体に異常はなかったが、離礁は困難と判断して投錨し、22時ごろ満潮を待って自力離礁した後、自力で赤生原港に帰った。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北東、風力 2</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期</p>
その他の事項	<p>公益社団法人鹿児島市シルバー人材センターは、洋上体験学習を事業として実施するに当たり、安全管理規程を定めており、同規程第17条第2項によれば、船長は、基準経路、避険線その他必要と認める事項を海図に記入するものとすると言われていたが、基準経路は記入されていたものの、避険線は記入されておらず、事業の開始前、干潮時に海上及び陸上から沿岸地形を観測し、危険な突出物等を把握したのみであった。</p> <p>船長は、長年、自身が操船しての周遊コース付近海域における船釣り経験があり、周遊コースの海底地形を熟知していると思っていた。</p> <p>甲板員の見張り位置からは、海面を通して船首至近の海底地形を目視で確認することができた。</p> <p>本船には、レーダー及びGPSプロッター等の航海計器はなかった。</p>
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、桜島北寅埼南方の海底観賞海域に至り、沿岸寄りを航行中、船長が、旅客に迫力ある海底地形を見せようと思い、ふだんよりも更に沿岸に接近したことから、海図に記載されていない暗岩に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、本船が、桜島北寅埼南方の海底観賞海域に至り、沿岸寄りを航行中、船長が、旅客に迫力ある海底地形を見せようと思い、ふだんよりも更に沿岸に接近したため、海図に記載されていない暗岩に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>公益社団法人鹿児島市シルバー人材センターにおいては、本事故後、安全対策会議が開催され、拡大海図に起伏した溶岩を記すとともに、避険線を設定するなどの再発防止策が採られた上、非常連絡網に陸上連絡員及び民間の救助要請先を追加するなどの救助体制確立のための方策が採られた。</p> <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水深の浅い沿岸付近には、海図に記載されていない暗岩などが存在することがあるので、注意すること。</li> </ul>